

# サンゴ

宝飾品の素材として親しまれているサンゴであるが、海中から採取したサンゴをできるだけ加工せず、そのままの姿を活かして鉢植型の置物に仕立てるのは、世界でも珍しい試みであるといえる。このような珊瑚樹を海上にそびえ立つ大樹に見立てて鉢植にする〈珊瑚樹盆栽鉢植〉置物の例は、とりわけ明治期に多くみられ、主に内国勸業博覧会に出展されているが、現存例はそれほど知られていない。

出品番号5の作は、珊瑚樹のみ第5回同博出品時に御買上を受け、その後、大正期に改めて鉢植仕立てに整えられた一点。対して、左ページの出品番号6の作は、鉢植の形状で第二回水産博覧会に出品され、御買上を受けた時のオリジナルの姿をそのまま伝える貴重な遺例である。鉢や盆上の岩と笹の細工部分はすべて銀を素材としている。いずれも、海原は玉石を鉢に敷き詰めることで、あらわされている。



5  
《珊瑚樹鉢植置物》  
出品・明治36年（一九〇三）  
第五回内国勸業博覧会（珊瑚本体）  
珊瑚、玉石、金工  
D45.0×W70.0×H67.0

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

細工・置物・つくりもの―自然と造型

三の丸尚蔵館特別展図録 No. 29

編集 集・宮内庁三の丸尚蔵館

製作 株式会社 便利堂

デザイン アイソーアソシエイツ 金子英之

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成十四年七月六日発行

Ornamental Artifacts—Nature and Its Imitations  
Sannomarru Shōzōkan Exhibition Catalogue No.29

Edited by Museum of the Imperial Collections, Tokyo  
(Sannomaru Shōzōkan)

Printed by Benrido Co., Ltd., Japan

Designed by Hideyuki Kaneko&i2 design associates

Translated by Hiroko Yokomizo

Published by Imperial Household agency, Japan

Issued on July 6, 2002

Copyright ©2002, Museum of the Imperial Collections, Tokyo